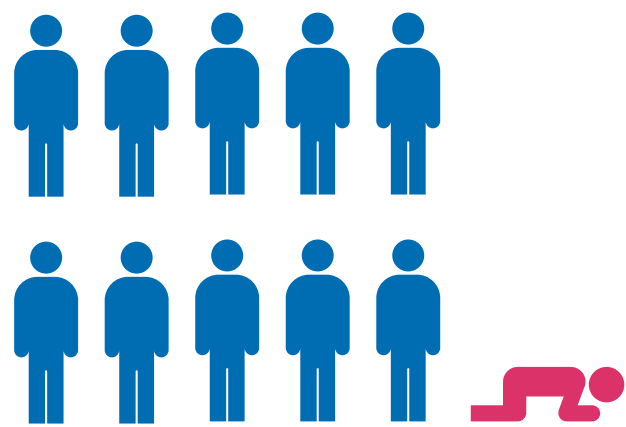


世界の飢餓

約7.5億人が飢餓

世界の11人に
1人が飢え



© WFP/Samantha Reinders

飢餓の背景

様々な原因が複雑に絡み合う



気候変動

©WFP/Victor Moyo



紛争

©WFP/Ali Jadallah



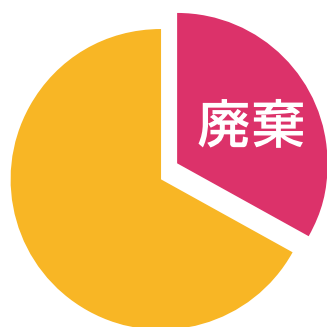
経済危機

©WFP/Osama Mohamed

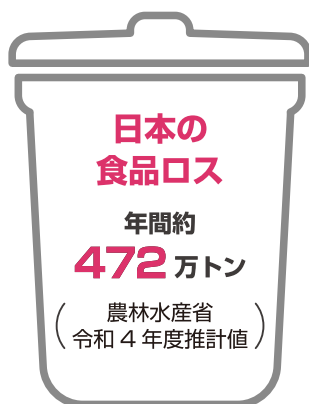
貧困

不平等

飢餓と食品ロス



世界の食料生産量の
3分の1が廃棄。



世界に食料は
足りているが、
全員に平等に
行き渡っていない

国連WFPとは



World Food Programme

「飢餓ゼロ」を使命とする国連唯一の食料支援機関です。



©WFP/Aristide Gatera

国連WFPとSDGs

「SDGs（持続可能な開発目標）」は、「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「質の高い教育をみんなに」など、2030年までに達成すべき17の国際社会の目標をまとめたもの。国連WFPは、目標2「飢餓をゼロに」が他の目標達成の基盤になると考え、パートナーシップを通じて実現を目指しています。



国連世界食糧計画 日本事務所
国連WFP協会

ショクリョウ ハイキョウ
0120-496-819
受付時間 9:00～18:00(年始を除く年中無休)
※ご寄付は寄付金控除の対象になります。



WFP.JP



@wfp_japanoffice
@jawfp_official



WFP_JP



寄付アプリ
ShareTheMeal

緊急食料支援

命を救う。

紛争や災害が発生すると、現地政府からの要請に基づき、直ちに職員を派遣します。48時間以内に最初の食料を被災地に届けることを目指し、その後、迅速に支援を拡大。指定の店で食料と引き換えられる券や、食料購入用の現金、電子マネーを配布することもあります。



World Food Programme

SAVING
LIVES
CHANGING
LIVES



スーダンから到着したばかりの難民に、国連 WFP が食料を提供している。
(チャド)

©WFP/Jacques David



地震で被災した人びとに温かい食事を提供。テントでの家族の食事の様子。(トルコ)

©WFP/Giulio d'Adamo



ギャングの暴力により避難を余儀なくされた人びと。
国連 WFP は、新たな支援方法としてプリペイドカードを配布した。(ハイチ)

©WFP/Luc Junior Segur



World Food Programme

SAVING
LIVES
CHANGING
LIVES

母子栄養支援

一生に関わる 「最初の1,000日」

子どもは母体に宿ってから2歳に達するまでの「最初の1,000日」に十分な栄養をとれないと、心身の発達に回復不能なダメージを受ける恐れがあります。国連WFPは乳幼児と妊産婦へ栄養を強化した食品を配り、子どもたちの健やかな成長を支えます。

ペースト状の栄養強化食品を、1歳の娘に食べさせる母親。(エチオピア)

©WFP/Michael Tewelde

保健クリニックで、子どもが身長測定をしている様子。

重度の急性栄養不良と診断され治療を受けている生後19ヶ月の男の子。(グアテマラ)

©WFP/Giulio d'Adamo

栄養測定バンドは、主に生後6か月から5歳未満の子どもの急性栄養不良の度合いを測るために使われる。二の腕にバンドを巻き付けて、示された色によって判断する。(イエメン)

©WFP/Ahmed Haleem



World Food Programme

SAVING
LIVES
CHANGING
LIVES

学校給食支援

給食で 広がる未来。

学校給食は子どもたちの栄養状態を改善し、勉強への集中力を高めます。給食があることで家族が子どもを学校へ通わせるようになり、就学率が向上します。教育の普及は国の発展につながります。

学校給食支援は、子どもたちや家族、地域社会にポジティブな変化をもたらす。(ネパール)

©WFP/Srawan Shrestha

16歳の少女は、学校に通い「将来は医者になって人びとを助けたい」と言う。
国連WFPの学校給食支援は、子どもたちが少なくとも1日1回栄養価の高い食事を
とることを保証し、就学を促進する。(南スーダン)

©WFP/Eulalia Berlanga

国連 WFP は、地域の農業や経済の振興につながるように、学校給食の
食材を地元で調達する地産地消を推進している。(エクアドル)

©WFP/Alcaldía de Manta



World Food Programme

SAVING
LIVES
CHANGING
LIVES

自立支援

支援からの卒業を目指して

支援を必要としている人びとに、農地や灌がいの整備、職業訓練などに取り組んでもらい、対価として食料を提供します。地域の生活環境が改善するだけでなく、人びとのスキルを高め、自立を助ける効果も期待できます。

地域コミュニティの共同温室でトマトを育てている様子。サイクロンや豪雨に見舞われ、時には厳しい干ばつに見舞われる地域では、気候変動に強い農業技術を習得することが、農民たちの生活を守るうえで重要である。(モザンビーク)

©WFP/Alfredo Zuniga

洪水により家を失ったが、国連 WFP の支援でミシンを購入。洋服を縫って生計を立て、家を建て直すためにお金を貯める。(パキスタン)

©WFP/Anam Abbas



© WFP/Boubou Ba

土壌回復のため、半月型の穴を掘り雨水を貯めることで農業生産を増やしている。写真は、栄養豊富な牛糞などの天然肥料を半月に詰めていく過程。(モーリタニア)

©WFP/Evelyn Fey





World Food Programme

SAVING
LIVES
CHANGING
LIVES

輸送・通信支援

確かに、届ける。繋ぐ。

国連WFPは国連随一の輸送集団であり、緊急時には物流などのリード機関として、アクセスの難しい地域に物資やスタッフも運んでいます。さらに通信関連の設備や専門家を派遣し、通信網の整備も行っています。

土砂崩れの被害を受けたエチオピア南部に緊急支援の食料を届ける国連 WFP のトラック。(エチオピア)

©WFP/Michael Tewelde

人道支援を必要とする人びとに貨物を届けるため、航空輸送を利用している。
(ブルキナファソ)

©WFP/Benoit Lognone



人びとが重要な情報にアクセスし、情報技術上の課題を克服するためデジタルスキルを強化できるようにすることを目的としたセンター。
(ニジェール)

©WFP/Abdoul Rafick Gaissa Chaibou





©Mayumi Rui



©WFP/Rein Skallerud



©WFP/Simona Caleo



©WFP/Agon Dragaj



©WFP/Tashi Doma



©Mayumi Rui

子どもたちに栄養と希望を

レッドカップキャンペーン

給食を入れる容器として使われている赤いカップを目印に、レッドカップキャンペーンに賛同する企業からキャンペーンマークのついた商品が発売されています。皆さんの毎日の買い物が、支援先の子どもたちに学校給食を届ける後押しになります。赤いカップは子どもたちの未来への希望のシンボルです。皆さんの力で給食が届く、それがレッドカップキャンペーンの願いです。

レッドカップキャンペーンへの参加方法はキャンペーンマークがついた商品を購入するだけ！



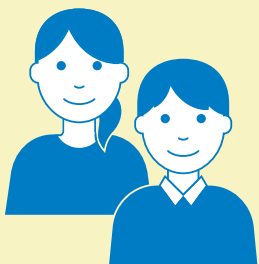
飢餓から救う。
未来を救う。
WFP
国連世界食糧計画

レッドカップキャンペーンの仕組み

対象商品を購入すると、その売り上げの一部が国連WFPの学校給食支援に寄付されます。

消費者

マークの付いた
商品を購入



企業

売上の一部を寄付



支援先の子ども

学校給食を食べる



©WFP/Marcus Prior

学校給食の効果

- 栄養状態の改善
- 勉強に集中
- 親が子どもを学校に通わせる
- 就学率の向上
- 教育の普及とその国の発展へ

対象商品や学校給食の効果は、こちらをチェック！
<https://www.jawfp.org/redcup/>

